



静岡大学通信(13)

著者	道林 克禎
雑誌名	静岡地学
巻	97
ページ	36-36
発行年	2008-06-22
出版者	静岡県地学会
URL	http://doi.org/10.14945/00024789

静岡大学通信 (13)

理学部地球科学教室では、教員の移動がありました。

平成20年3月に新妻信明教授が定年退職されました。新妻教授は、昭和53年(1978年)に助教授として赴任されて以来、30年間を静岡大学で過ごされました。6月にご出身である仙台に戻られる予定です。また、同じく平成20年3月に海野進教授が金沢大学に転出されました。海野教授は、昭和63年(1988年)4月に助手として赴任されて以来、20年間を静岡大学で過ごされました。金沢大学では、国際統合海洋掘削(IODP)に関連した分野でのご活躍が期待されています。

4月より地球ダイナミクス講座に生田領野博士が東京大学地震研究所より助教として赴任されました。生田助教は地震学を専門とされており、現在静岡大学で展開されている能動的地震観測システムであるアクロスに多大なる貢献を期待されています。

(道林克禎)